



FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

第2466回

通常例会／小杉苑

会長:山田 賀昭
副会長:平野 純也

幹事:村松 繁
副幹事:辻 孝之・大杉 暢彦



● 会長報告

山田 賀昭君

みなさん、こんにちは GW ゆっくりとした時間過ごせましたでしょうか。私は、妻と一緒に蓮華寺池公園の



山登りコースを歩き、血圧を下げるための運動を続けていました、藤まつりのイベントも 5 月 5 日まで開催され、連日多くの方が来場され藤の花を満喫し、自然とふれあい楽しい時間を過ごされたことでしょう。

4 月 27 日から 29 日 従妹と一緒に蓮華寺池公園内の店舗を借りて、ガラス細工装飾品と藍染アロハシャツの販売をいたしました。藍の染料を立て染める話をしながら楽しく販売できました。

本日の例会は、第 2 回戦略計画検討グループ担当例会です。藤枝ロータリービジョン声明を基本にクラブとしての戦略的優先事項をまとめていきます。そして担当する組織、必要なリソース、担当する会員、達成期日を決め行動計画を進めます。私たちは、意義ある事業の基礎には、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。ロータリークラブの活動の実際的な基準である、クラブ奉仕 職業奉仕 社会奉仕 青少年奉仕 国際奉仕を奨励し育むことを継続的に持続できる事業を生み出していきましょう。本年度 4 つの優先事項を目標とすることを掲げられています。

1. より大きなインパクトをもたらす目標
2. 参加者の基盤を広げる目標
3. 参加者の積極的なかわりを促す目標
4. 適応力を高める目標

社会奉仕を行動計画に進めるにあたり、地域社会の各種団体、組織、法人、学校と協働して進

めていく事が大事であります。

1992 年規定審議会は、ロータリーの社会奉仕に関する声明を採択ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成すること各 RC が多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の機会を与え、ロータリーの方針を明確に表すために、原則としてロータリアン一人ひとりが超私の奉仕を実証する機会である。

他人のために尽くす意義と重要性を説き RC の根本精神としなければならない(超私の奉仕)社会奉仕については、10 項目に分けて奨励がされています。

1. 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、クラブ会員に地域のニーズを検討させる。本日の例会では、テーブルメイトグループにて検討していきます。
2. 社会奉仕プロジェクトを実施するにあたって会員の得意とする職業上の能力 趣味の力 人脈を生かすこと。
3. ささやかであっても、あらゆる社会奉仕活動が重要であると認識した上で地域のニーズをよみ、地区内のクラブの立場や力量を考慮してプロジェクトを始めること
4. 各種社会奉仕活動を秩序立てるために、RC が提唱するインターアクト、ローターアクト、ロータリーと地域社会共同隊、などそのほかのグループと緊密に協力すること。
5. 国際レベルのロータリプログラムと活動を通じて社会奉仕プロジェクトを強化する機会を確認すること。グローバル補助金の活用

6. 社会奉仕プロジェクトの実行に当たっては、望ましく 実現可能な限り必要とされる資金や人材の提供までも含めて、地域社会にも参加を求めること。
7. 社会奉仕の目標を達成するために RI の方針に沿ってほかの団体と協力すること
8. 社会奉仕のプロジェクトが一般社会の人々に十分認められること
9. 社会奉仕活動においてはほかの団体の協同参加を促進する
媒体として役割を果たすこと。
10. もし奉仕プロジェクトが適当であるならば、公共組織 奉仕団体そのほかの諸団体に継続中のプロジェクトを委譲すること

以上のロータリーの社会奉仕に関する声明を理解して、地域社会の不可欠な事業を行動計画に盛り込んで活動していきましょう。

テーブルメイト別に協議いただき、藤枝ロータリーのありたい姿に向けて行動計画を沢山ご提案いただけますようよろしくお願いいたします。
戦略計画検討グループ リーダー 江崎晴城君、本日の例会よろしく願いいたします。

● 幹事報告 村松 繁君

- ・英字版 the Rotarian が届きました。
- ・日本事務局より
青少年奉仕月間リソースのご案内が届きました。
- ・ガバナー事務局より
ガバナー月信 5月号が届きました。
- ・藤枝市民吹奏楽団より
藤枝市民吹奏楽団、第 42 回定期演奏会のご案内が届きました。

● 出席報告 青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
31/40 77.05%	28/40 70.00%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 朝比奈君 ○大杉君 ○河森君 ○北島君
- 鈴木舜君 ○武田君 ○土屋君 ○仲田晃君
- 松田君 ○望月君 ○八木君
- ※○印は欠席連絡あり

(2)メイクアップ者

朝比奈 孝幸君 (8/8 清掃)

北島 毅君(5/14 静岡北)

● スマイルBOX 青島 彰君

- ・妻のたんじょう日のお祝いありがとうございます。毎年お祝いのお品を楽しみにしています。ありがとうございます。 太田暢裕君
- ・お祝いありがとうございます。5/7で47才になりました。娘が4月から大学生となりゴールデンウィークは初の帰省で楽しい時間を過ごすことができました。仕事も家族との時間も両方大切にしながら、また1年楽しくすごしていきたいと思います。 勝又徹君
- ・結婚記念のお祝いありがとうございます。36年になりました。金婚式目指します。

島村武慶君

- ・結婚 36 年になります。ロータリークラブに在席させていただいていることとともに夫婦ふたりで記念日を祝いたいです。 村松繁君

スマイル累計額 159 , 000 円

● 委員会卓話

戦略計画検討
グループリーダー
江崎 晴城君



● ロータリーの友紹介 仲田 廣志君

『ロータリーの友 5月号紹介』

5月は、青少年奉仕月間、関連した記事が7-13頁掲載されている。ロータリーの青少年育成の育成を支援するプログラムは多種多様である。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、米山奨学生等々ありますが、ロータリー青少年指導者育成プログラム「RYLA」という事業もある。14歳～30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成のプログラムである。RYLAプログラムの目的

若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献している若者を表彰すること若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育み、ロータリーを通じた奉仕の機会へ導くこと。若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を実施すること。

RYLAを実施メリット

未来の担い手を育てる一助になる。

つながりを築く RYLAは、ロータリーの若い参加者が互いにつながり、協力しあう絶好の機会となる。

参加者の基盤を広げる 多くの若者にとってRYLAはロータリーとの初めての接点となり、それがロータリーとの生涯にわたるつながりを育むチャンスでもある。

8-11頁 2820地区の2日間、2660地区の3日観に亘って行われたRYLAセミナーの記事

12-13頁 青少年との適切な距離を知りましょう。青少年を接触する機会の多いロータリアン、ハラスメントを意識した行動を

14-17頁 もっと知りたいパキスタンの記事。野生型ポリオ根絶まであと2か国。その国はパキスタンとアフガニスタン。5月号、6月号でパキスタンの情報とポリオの最前線について紹介。



ソングリーダー…… 鈴木 邦昭君
ソング…… 君が代・奉仕の理想

四つのテスト



5月のお祝い

おめでとうございます

勝又君



太田暢裕君のご婦人
松田真彦君のご婦人



島村武慶君ご夫妻
鈴木舜光君ご夫妻
村松繁君ご夫妻



5月入会の会員御祝



菅原 慎司君 (H25. 5. 1 入会)

《5月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
13	14	15	16	17
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
20	21	22	23	24
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
27	28	29	30	31
閉局	10:00~ 16:00			

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局

〒426-0037

藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21

TEL054-647-2300 FAX054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/石上 忠義君)